

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ルート2号店			
○保護者評価実施期間	令和7年2月22日		～	令和7年3月13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16人	(回答者数)	12人
○従業者評価実施期間	令和7年3月1日		～	令和7年3月13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4人	(回答者数)	4人
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月13日			

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもたち一人ひとりの発達や特性に合わせて環境や活動を調整しています。	子どもたち一人ひとりの発達や特性に合わせて、環境や活動を変化させ、子どもたちがより過ごしやすく、集中しやすい環境作り、子どもたちがより楽しめる活動の提供を心がけています。	柔軟な思考で子どもたちの学びに効果的な空間と活動を提供できるよう、日々のミーティングなどで支援者間で話し合っています。
2	室内で運動できるスペースがある。	雨天などが続いて外出などができない際にも、ボルダリングや風船バレーなどができるスペースがあります。室内で運動をする時は、必ず職員が複数人ついて、ケガや事故につながるような壁や物を極力排除し、子どもたちが安全に楽しく遊ぶことができるように留意し業務にあたっています。	テンションが高くなりすぎてくる前に、クールダウンする時間を設けたり、子どもたちが楽しく安全に過ごせるように環境整備を徹底していきます。
3	子どもたちだけでなく、保護者さまの相談にも対応しています。	困ったことや悩んでいる事を、すぐに相談してもらえようように、送迎時などには声をかけてもらったり、相談があった場合は、できる限り早い対応を心がけています。	個別でお子さまの今の様子や育児の悩み、将来についてなど懇談する機会を増やしていきます。また、多忙な保護者さまのためにSNSなど、気軽に連絡がとれるツールなども活用していきたいと思っています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	日々の保護者さまとの連携や保護者会などの開催ができていない。	送迎の際にお会いできたら近況など話をしたりすることがありますが、ゆっくりと時間をかけて話すことができていない。	公式LINEなどにまだ登録がされていない保護者さまに声をかけをし、連携をお願いしていく。ニーズに合わせて、保護者会などの企画も行っていくようにする。
2	非常災害の発生に備えてのマニュアルが、保護者さまへ周知ができていない。	事業所内には閲覧できるように掲示してはいるものの、ほとんどのご家庭が送迎をご利用されており、見る機会がない。	ホームページや広報誌などへの掲示をするとともに、公式LINEなどで掲示のお知らせなど発信をして、保護者さまに見ていただける機会を作るようにする。
3			